

■ 掲示板

■ 第9回ドイツ・イノベーション・アワード 「ゴットフリード・ワグネル賞2017」公募

第9回を迎えるゴットフリード・ワグネル賞は、材料、デジタル化とモビリティ、エネルギー、ライフサイエンスの分野における若手研究者による応用指向型の研究を募集します。

本賞は、日独間の産学連携を促進することと優れた日本の若手研究者の支援を目的として、技術革新を重視するドイツ企業により創設されました。日本の優れた若手研究者による豊かな未来を創造する革新的な研究成果に与えられます。

ドイツ・イノベーション・アワードは、1868年来日し、日本の科学界と教育界に大きな足跡を残したドイツ人科学者、ゴットフリード・ワグネルにちなんで名付けられました。

主催: ドイツ 科学・イノベーション フォーラム 東京、在日ドイツ商工会議所

応募資格: 日本の大学・研究機関に所属する45歳以下の若手研究者（応募締切日時点）

応募対象: 材料、デジタル化とモビリティ、エネルギー、ライフサイエンスのいずれかの分野における応用志向型の研究で、現

在進行中の研究、または過去2年以内に完了した研究成果

賞金: 250万円

原則として授賞は各分野1件、計4件

場合によっては、ドイツ短期研究滞在の助成金も授与されることがあります。

審査方法: 本賞の共催企業の技術専門家による予備審査の後、常任委員と専門委員から構成される選考委員会において、受賞者を決定します。

応募方法: 電子申請システムで受け付けます。詳細については、ホームページをご覧ください。

www.german-innovation-award.jp

応募締切: 2017年1月10日（火）必着

問合せ先:

〒102-0075 東京都千代田区三番町2-4 三番町 KS ビル5F

ドイツ 科学・イノベーション フォーラム 東京

ドイツ・イノベーション・アワード事務局

TEL: 03-5276-8827

E-mail: info@german-innovation-award.jp

URL: www.german-innovation-award.jp

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 吾郷日出夫

渉外幹事 雨宮健太

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID: jsr296

Password: rtancL7p

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、雨宮 (kenta.amemiya@kek.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、吾郷 (ago@spring8.or.jp) までお願いします。

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2016年 11/29 -12/1	2016年真空・表面科学合同講演会 第36回表面科学学術講演会・第57回真空に 関する連合講演会	名古屋国際会議場	一般社団法人日本真空学会 E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org	29・5

■会 告

■日本放射光学会第112回評議員会議事録

日 時：2016年10月8日（土）14：00～16：00

場 所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス 大会議室

出席者：足立純一，雨宮慶幸，石川哲也（会長），尾嶋正治，加藤政博，木村昭夫，木村真一，組頭広志，小杉信博，櫻井吉晴，辛埴，高田昌樹，平井康晴，藤森淳，藤原明比古（庶務幹事），松田巖，村上洋一，矢代航（行事幹事），山本雅貴，渡邊信久
吾郷日出夫（編集幹事），雨宮健太（渉外幹事），渡部貴宏（会計幹事）

欠席者：朝倉清高，太田俊明，木村滋，後藤俊治，繁政英治，鈴木基寛，大門寛，高原淳，原田慈久，水木純一郎

事務局：伊都千佳，笹部昌子，佐藤亜己奈

0-1. 出席委員の自己紹介および会長挨拶を行った。

0-2. 評議員の互選により，木村昭夫評議員を本会議の議長に選出した。

〈審議事項〉

1. 2017年度会長活動方針案

10月1日より2017年度事業がスタートしたことを受け，石川会長より，「放射光学会ミッションの再定義」，「高レベルなサイエンスを進める環境作り」，「近未来放射光利用者支援体制の検討」といった活動方針案について説明があり，これを承認した。

2. 2017年度幹事

石川会長より2017年度幹事について，2016年度に引き続き下記の通り選出した旨説明があり，これを承認した。
庶務幹事：藤原明比古，行事幹事：矢代航，編集幹事：吾郷日出夫，渉外幹事：雨宮健太，会計幹事：渡部貴宏

3. 2017年度学会組織および事業計画

藤原庶務幹事より2017年度の学会組織（会長，幹事，評議員，各委員会委員）および事業計画について説明があり，これを承認した。

4. 2017年度行事幹事活動方針

矢代行事幹事から年会・合同シンポジウムの開催，若手研究会・基礎講習会の継続など，2017年度行事活動方針について説明があり，これを承認した。

5. 2017年度編集幹事活動方針

吾郷編集幹事より試料環境シリーズの連載など，編集活動方針について説明があり，これを承認した。尚，単行本「増補版・放射光ビームライン光学技術入門」は在庫が残り少なくなっているが，現在も一定の需要があるため，今後の扱いについて検討を進めるとの報告があった。

6. 2017年度渉外活動方針

雨宮渉外幹事より他学会に対する情報発信，AOFSSRでのリーダーシップの確保，IUCrのCommission on Synchrotron Radiationとの協調，学会ホームページのアップデート，緊急時における他学会への働きかけ，男女共同参画との連携など，2017年度渉外幹事活動方針について説明があり，これを承認した。

7. 会計監査

事務局移行に伴い新たにお願いをした税理士は，年度末の監査を引き受けないということだったため，前回の評議員会で，評議員から選出された会計監査役による監査を実施することについて検討をし，これに関する定款の改定を行うこととなっていたが，その後税理士より，「決算書および資産負債明細が正確かつ適正であることを確認した。」ではなく，「決算書および資産負債明細が正確であることを確認した。」といった文面であれば証明（印）を押しても構わないとの回答を得たことが報告された。これを受けて，渡部会計幹事より，会計監査に関する定款の改定は行わず，これまでと同じ形式で税理士に監査をお願いすることが提案され，これを承認した。

8. 2016年度暫定決算

渡部会計幹事より2016年度暫定決算および資産負債明細について説明があり，これを承認した。最終版の決算書は次回評議員会で報告をすることとした。

9. 2017年度暫定予算

渡部会計幹事より2017年度暫定予算について説明があり，これを承認した。

10. 第21回学会奨励賞選考結果

石川会長より学術賞等選考委員会において，今後の放射光科学での広い分野への寄与の可能性に重点を置く方針の下選考を行った結果，下記の2名を第21回学会奨励賞の受賞者として推薦する旨の説明があり，これを承認した。

上村 洋平 会員（自然科学研究機構 分子科学研究所）
「超高速時間分解 XAFS による不均一触媒のメカニズムの研究」

木村 隆志 会員（北海道大学 電子科学研究所）
「X線自由電子レーザーによる溶液環境コヒーレント回折イメージング法の開発」

11. 第4回功労報賞

石川会長より第4回功労報賞は応募がなく，該当者なしとする旨の報告があり，これを承認した。

12. 学会誌投稿規程

吾郷編集幹事より学会誌投稿規程改定について提案があった。1.5および3の改定について，下記の通り承認した。

「1. 原稿の種類と体裁」の項目1.5より「講座」を削除する。原稿の種類から「講座」を削除した折の削除漏れの修正。

(改定前)
<p>1.5 原稿は、以下の長さをもって標準とする。ただし、刷り上り1頁は約2500字である。 解説、トピックス：刷り上り 8頁以内 実験技術、講座：刷り上り 2～5頁 会議報告、動向、新博士紹介、読者投稿欄：刷り上り1～2頁</p>
(改定後)
<p>1.5 原稿は、以下の長さをもって標準とする。ただし、刷り上り1頁は約2500字である。 解説、トピックス：刷り上り 8頁以内 実験技術：刷り上り 2～5頁 会議報告、動向、新博士紹介、読者投稿欄：刷り上り1～2頁</p>

「3. 著作権」に、提出された原稿の著作権の帰属を明確にする規定を追加する。会員サービスの観点から記事は一年間会員のみの公開の方針と対立するフリーアクセスを目的に、提出された原稿をプレプリントサーバーもしくは自らの運営するウェブサーバーに登録したいという申し出があった。原稿が学会に提出されてから掲載されるまでの期間の著作権の所在を明確にし、記事は一年間会員のみの公開との現行の方針を掲載前の原稿に対して主張する根拠を明確にするための修正。

(改定前)
<p>3. 著作権 3.1 掲載された記事の著作権は日本放射光学会に属する。記事の全部または一部を他の出版物に転載、翻訳、あるいはその他の利用をしようとする場合は、日本放射光学会の承認を得なければならない。 3.2 機関リポジトリに関しては、掲載後1年が経過した記事について、著作者本人が所属する機関の機関リポジトリへの登録のみを認める。登録にあたっては、事前に日本放射光学会から許可を得なければならない。学会から提供された電子ファイル版のみを認める。また著作権は日本放射光学会に属する。</p>
(改定後)
<p>3. 著作権 3.1 <u>日本放射光学会に提出された原稿の著作権は原則として日本放射光学会に帰属する。</u> 3.2 <u>日本放射光学会に提出された原稿を編集委員会が不掲載とした場合、原稿の著作権は著者に帰属する。</u> 3.3 掲載された記事の著作権は日本放射光学会に属する。記事の全部または一部を他の出版物に転載、翻訳、あるいはその他の利用をしようとする場合は、日本放射光学会の承認を得なければならない。 3.4 機関リポジトリに関しては、掲載後1年が経過した記事について、著作者本人が所属する機関の機関リポジトリへの登録のみを認める。登録にあたっては、事前に日本放射光学会から許可を得なければならない。学会から提供された電子ファイル版のみを認める。また著作権は日本放射光学会に属する。</p>

13. 休会制度
 前回の評議員会で検討することとなっていた休会制度について、藤原庶務幹事より草案が示された。この草案について、次回評議員会までに評議員から意見を募ることとした。
14. 会員異動
 藤原庶務幹事より、第111回評議員会以降の入会申請者に関して、入会：正会員38名（内学生32名）、シニア会員5名、賛助会員3社3口の報告があり、これを承認した。退会に関して、退会：正会員21名（内学生6名）、賛助会員1社1口を確認した。2016年10月8日現在での総会員数は1,285名（内学生104名）、名誉会員6名、シニア会員49名、賛助会員45社（47口）、特別賛助会員11団体（18口）。また、会費3年間未納のための自動退会者30名および会費2年滞納者51名のリストを確認した。自動退会者については継続をお願いできそうな会員に一度評議員から働きかけて、次回もう一度審議することとした。
15. 協賛・後援
 雨宮渉外幹事より、本学会に対する協賛・後援依頼について報告があり、協賛7件、後援1件を承認した。

＜報告事項＞

1. 2016年度事業報告
 藤原庶務幹事より、2016年度事業について報告があった。
2. 日本学術会議マスタープラン
 藤原庶務幹事より、3月末に日本学術会議に提案したマスタープラン2017の状況について、また、日本学術会議では、2017年1月の幹事会で提言「マスタープラン2017」が承認予定であるとの報告があった。これを受け、石川会長より、マスタープラン2017の提案では中型放射光施設計画に絞って提案を行ったこと、具体的計画として東北放射光施設（SLiIT-J）計画をオールジャパンとして推すことが一意解であることが報告された。これに関して、今後の放射光学会の対応に関して質問があり、石川会長より下記の説明があった。日本の放射光科学のグランドデザインを明確にした上で、必要に応じて特別委員会等の科学技術的議論の場を設け、臨機応変に対応していく事になると考えている。
3. 第8回基礎講習会報告
 矢代行事幹事より2016年9月5日-6日に東京大学本郷キャンパスで開催された第8回放射光基礎講習会「初心者のための放射光入門講座 基礎から応用まで」の参加者数、収支などについて報告があった。
4. JSR2016収支報告
 矢代行事幹事より第110回評議員会で暫定版を報告したJSR2016収支について、最終版の報告があった。
5. JSR2017・JSR2018準備状況
 第30回年会・合同シンポ（JSR2017）準備状況と今後の予定について報告があった。また、第31回年会・合同シンポ（JSR2018）はつくば国際会議場で開催予定との報告があった。
6. 会誌編集状況
 吾郷編集幹事より学会誌の発行および編集状況について報告があった。

7. AOFSSRR2016

雨宮渉外幹事より AOFSSRR2016が2016年11月2日-4日に上海で開催される旨の報告があった。

8. 男女共同参画協会連絡会大規模アンケート調査

雨宮渉外幹事より10月8日から開始される科学技術系専門職の男女共同参画実態調査について、後日メールで案内をするのでアンケートへの協力をお願いしたいとの説明があった。

9. 渉外幹事業務報告

雨宮渉外幹事より協賛依頼、案内掲載依頼への対応など、渉外幹事業務について報告があった。

評議員会日程（予定）の確認

第113回評議員会 2017年1月7日（土）

場所：神戸芸術センター

第114回評議員会 2017年4月8日（土）

場所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス

第115回評議員会 2017年7月8日（土）

場所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス

■会員異動

第112回評議員会（2016年10月8日）で承認

《正会員入会》

田中 秀明 大阪大学蛋白質研究所
君島 堅一 高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所
渡邊 裕介 榊田自動車織機
松浦 晃洋 藤田保健衛生大学医学部分子病理
西森 信行 東北大学 電子光学研究センター
藤森 茜 つくば国際大学医療保健学部

以上6名

《学生会員入会》

榊 優太 京都工芸繊維大学大学院機能物質化学専攻天然高分子材料学研究室
今野 隼 東京理科大学大学院基礎工学研究科材料工学専攻小嗣研究室
大久保晶平 東京理科大学理学部応用物理学会伊藤研究室
大江日南子 東京理科大学理学部応用物理学会伊藤研究室
達久 将成 東北大学 金属材料研究所 加藤研究室
高橋 謙太 東京理科大学理学研究科応用物理学専攻修士1年齋藤研究室
阿部 晃大 大阪府立大学 工学研究科 電子・数物系専攻固体物性研究グループ
下山 諒太 東京理科大学 理学研究科 応用物理学専攻 齋藤研究室
高柳 亮平 東京理科大学, 理学研究科, 齋藤研究室
石井 祐太 東北大学多元物質科学研究所 構造材料物性研究分野
佐井 宏彰 立命館大学大学院, 生命科学研究科, 無機触媒化学研究室
レン キ 関西学院大学 理工学研究科 吉川研究室
石原 涼奈 大阪府立大学 大学院工学研究科 電子・数物系専攻 数理工学分野 固体物性研究グループ
永島 麻紀 兵庫県立大学大学院物質学専攻光物性
加藤 大貴 名古屋大学
辻岡 宏太 京都大学化学研究所竹中研究室
香川 咲貴 兵庫県立大学大学院物質学専攻 籠島研究室
佐々木将太 北九州市立大学大学院, 国際環境工学研究科, 秋

葉研究室

田畑 恵理 北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科 秋葉研究室

岡本 真範 京都大学化学研究所竹中研究室

大堀 岳 東京理科大学大学院 総合化学研究科 総合化学専攻 築山研究室

高嶋 雅仁 群馬大学大学院 理工学府 理工学専攻 伊藤正久研究室

加藤 康平 群馬大学大学院理工学府理工学専攻伊藤正久研究室

柿木 謙昌 東京理科大学大学院総合化学研究科築山研究室

岸 潤一郎 大阪大学 大学院理学研究科 物理学専攻 木村研究室

日比 滋元 大阪大学大学院生命機能研究科光物性研究室

中井真理奈 立命館大学大学院, 生命科学研究科, 無機触媒化学研究室

山本 隆寛 慶應義塾大学理工学部中迫研究室

Amina Abozeed Ritsumeikan university

菱山 直樹 上智大学大学院理工学研究科理工学専攻物理学領域 電子物性研究室

中川 心陽 上智大学大学院理工学研究科原子分子分光研究室

藤瀬 光香 総合研究大学院大学

以上32名

《シニア会員入会》

田中 正俊
中井 生央
小池 雅人 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
坂田 誠 財団法人高輝度光科学研究センター (Spring-8/JASRI)
三好 憲雄 京都工芸繊維大学

以上5名

《賛助会員入会》

ペンギンシステム株式会社 (1口)
EMF ジャパン株式会社 (1口)
株式会社東京インスツルメンツ (1口)

以上3社3口

《退会会員》

正会員15名, 学生会員6名, 賛助会員1社1口

《会員数》

会員1285名 (内学生104名) 名誉会員6名 シニア会員49名
賛助会員45社 (47口) 特別賛助会員11団体 (18口)